

中日本ネットワーク

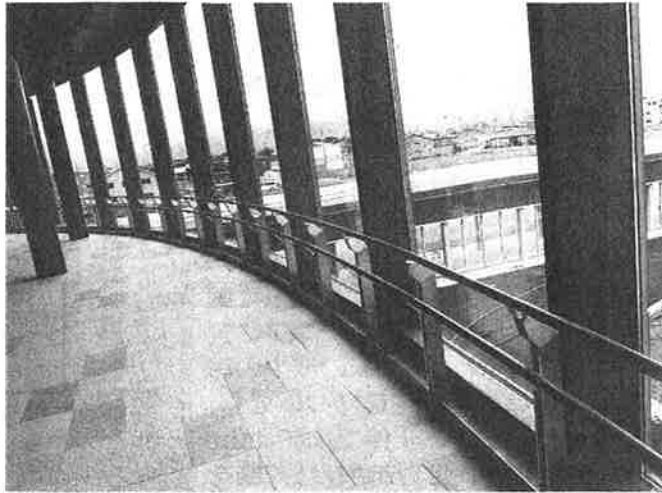
東海・信越・北陸

北信越支局

NIGATA

〒950-0088
新潟市中央区万代四丁目2番23号
オフィス万代301
TEL (025) 244-7600 FAX (025) 244-7601

上越妙高駅に採用されたCFB



日鉄住金工材

省合金型二相
ステンレス鋼

CFB市場開拓に注力

1、2年後に実販売

【上越】ステンレス・チタン・特殊合金を加工販売する日鉄住金工材(本社||新潟県上越市、石川昌弘社長)は、主力製品であるステンレスコールドフラットバー(CFB)の市場開拓に取り組んでいる。国内の建築金物市場が成熟しており大きな成長が期待できないため、従来鋼種のSUS304に加え新日鉄住金ステンレスが開発した省合金型二相ステンレス鋼もラインアップして新しい需要を掘り起こす。

CFBは主に国内販
売している。主な用途
は手摺をはじめとする
建築金物で、2015
年3月に開業した北陸
新幹線上越妙高駅の手
摺には同社製のCFB
が採用されている。
国内需要は推定で年
間70000-80000
とみられるが、最近
数年間は規模が大きく

変化していない。同社
の生産量は年間2000
0ト前後で25%程度の
シェアがあるものの、
国内市場は成熟してお
り大きな成長が期待で
きないため、省合金型
二相ステンレス鋼種も
ラインアップに加え新
しい分野への市場開拓
に取り組んでいる。
具体的には建築金物
分野での従来鋼種から
の省合金型二相ステン
レス鋼種への置き換え
や、同分野での他素材
からの置き換え需要を
取り込みたい考えだ。
また省合金型二相ステ

ンレス鋼の板材の採用
が進んでいる水門や化
学プラント向けなどで
派生するCFBの需要
も狙う。

一省合金型二相ステ
ンレス鋼のCFBはま
だ市場開拓段階だが、
1、2年後に実販売に
つなげていきたい」と
石川社長は話す。
日鉄住金工材はCF
Bと世界シェア推定約
70%の電解銅箔用チタ
ン製電着ドラムが2本
柱。チタン製電着ドラ

ムについてはフル生産
が続いており好調に推
移する。電気自動車に
搭載されるリチウムイ
オン電池用の電解銅箔
需要が旺盛で、アジア
を中心に設備投資が相
次いでいるためだ。次
世代の電着ドラムも開
発して競争力をさらに
高めている。同社はま
た主力2製品に次ぐ第
3の柱を創出するため
の新規事業探索も進め
ている。